



多面的機能支助交付金 活動事例紹介

～ 集落外住民や地域住民との意見交換・交流会 ～



1. 組織の概要

檜谷地域資源保全会は、大洲市戒川地区で活動する組織です。この活動組織は、平均傾斜勾配 20% の 200 枚を超える棚田を中心に、平成 27 年度から本交付金を活用して、農地維持、資源向上（共同）の活動に取り組んでいます。活動拠点である「檜谷棚田」は、美しい曲線から成るすり鉢状の奥行きのある景観が特徴で、2021 年に農林水産省の「つなぐ棚田遺産」に認定されています。



2. 棚田の田植え、稲刈り体験の援助・指導

この地域では、過疎化・高齢化の進行により農業者のみでの農地維持が難しくなってきたため、2014 年に地域内外の有志が結成した「檜谷棚田保存会」と協力し、棚田を貴重な地域資源と捉え、2016 年から「棚田オーナー制度」を、2018 年から「棚田トラスト制度」を取り入れました。そして、地域住民だけでなく、都市住民を巻き込んだ形で、棚田の保全活動に取り組んでいます。



活動組織は、棚田のオーナーの田植え、稲刈り体験を援助・指導し、棚田オーナーは、棚田の保全活動を継続していくための有効なアイデア等を提案することで、互いに WIN-WIN な関係を築いています。



稲刈りに参加していたオーナーは「この素晴らしい棚田の風景を保全していきたいと思い、オーナーになった。また、この棚田で収穫できるお米を食べることが、毎年の楽しみになっている」と嬉しそうに話してくれました。



なお、この活動は、以下の項目に位置付けて活動をしています。

- ④遊休農地発生防止のための保安全管理
- ⑤畦畔・法面の草刈り
- ⑩地域住民との意見交換・交流会の開催
- ⑪啓発・普及活動（一部を抜粋しています。）

3. 感謝のことば

組織の方は「自分たちだけでは、この棚田を維持していくことが難しいが、たくさんの人に支えられて、守っていくことが出来ている。とてもありがたいことだと思っている」と感謝していました。

檜谷棚田保存会
ホームページ➡

